

高松市立太田小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

自分・人・地域を愛し、未来を創る 太田っ子の育成
～支え合うやさしい子 よく考え表す子 健康で粘り強い子～

【本校の課題】

- 男女とも上体起こし、長座体前屈は優れている。
- 握力、立ち幅跳びが県・全国平均と比較して大きく劣っている。瞬発的な筋力を発揮することを苦手としている。
- 学年が上がるにつれて、外遊びの時間が減っている。

【現状】

高学年は委員会活動などの仕事で時間がとりにくい実態にあるが、業間や昼休み等には元気よく運動場や遊具で遊んでいる児童も見られる。また、ドッジビーなど当たっても痛くない道具を取り入れ、多くの子どもたちが外遊びを楽しむようにはなっている。遊具では、低学年の児童が主に遊んでいる姿が見られる。

【取組み】

太田リンピックの実施

東京オリンピック開催にともなって、運動について児童の意欲・関心を高めることを目標に、体力づくりカードを作成し実施する。内容は10種目、1つにつき10項目で合計100個とする。

内容は学校にある遊具や用具を使って、自分でできるもの、体育の時間に取り入れられる補助運動のものとする。達成した数により金・銀・銅メダルの賞状を渡し、称賛する。

体育館開放（自由遊び・イベント実施）

行事などで体育館を使用しないときは、1学年ごとに担任管理のもと、安全に配慮し、開放する。

また、委員会が昼休みにイベントを企画し、運動の機会を増やしていく。目標をクリアした児童に賞状を配布し、意欲的な態度を育てていく。



クラスマッチ種目の実施

3年生以上で行う。各学年の実態に合わせて行うことにより、仲間づくりに有効であることを知らせる。

コロナウイルス感染症対策を、各学年団で行い、内容を相談する。



【今年度の目標】

- 外遊びが好きで、進んで体力づくりをするたくましい児童を育成する。
- 合格証や賞状をその都度配布し、認めることで、自己有用感を高めるとともに、目標に向かって頑張ろうとする態度を育成する。
- 体育の授業が「好き」と答える児童の割合を令和4年度中に80%以上にする。（新体力テストや児童の様子を観察することで今年度の取組みを評価していく）